

DNAと遺伝子ってちがうの？

企画展

# DNA ってすごい！

～自然史研究の大革命～

2026年

2.11(水) ▶ 5.31(日)

企画展示 : 2F 展示室（入館料のみで見学できます）

開館時間 : 10:00 ~ 17:00（入館は 16:30 まで）

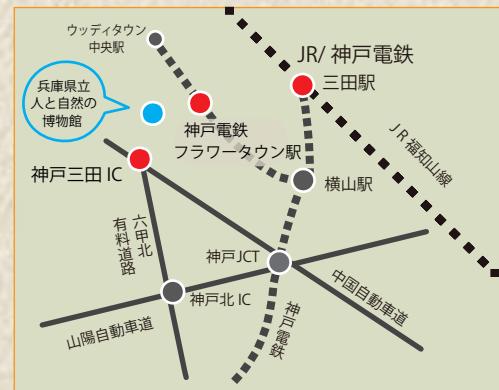
休館日 : 月曜日（祝日の場合はその翌日）

入館料 : 大人 200 円／大学生 150 円／70 歳以上 100 円／高校生以下 無料

特別講師をお招きし、DNA セミナーを開催します！詳細は裏面へ

セミナー開催場所 : 4 階大セミナー室（2/15・3/28・5/16）

受講料 : 大人 500 円、高校生以下 350 円



アクセス



ひとはく HP



〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目

Tel : 079-559-2001 (代表)

07 教P2-025A4

# DNA展 関連セミナー

□ 参加申込み：ひとはく HP から申込

□ 受講料：大人 500 円、高校生以下 350 円（入館料別途必要）

2/15  
日

## DNA が拓く 自然史研究の最前線



▶ 13:10 ~ 13:50

「DNA 情報はどのくらい『解読』でき  
たのか？－私たちのゲノムの五億年」

工樂 樹洋

国立遺伝学研究所  
分子生命史研究室  
教授



▶ 13:50 ~ 14:40

「DNA から読み解く適応進化と種分化  
の歴史～トゲウオを題材として～」

山崎 曜

国立遺伝学研究所  
生態遺伝学研究室  
助教



▶ 15:10 ~ 15:50

「DNA を用いて外見では区別できない  
シダ植物の隠蔽種を識別する」

村上 哲明

兵庫県立人と自然の博物館  
館長



▶ 15:50 ~ 16:40

「博物館標本の DNA から、生きものの  
過去が分かる」

中濱 直之

兵庫県立大学  
准教授  
兵庫県立人と自然の博物館  
主任研究員

3/28  
土

## 環境 DNA 最新研究



▶ 13:30 ~ 14:30

「水を汲めばそこにいる生き物が  
分かる！？環境 DNA を使った生物調査」

辻 泳月

京都大学大学院  
情報学研究科  
助教

5/16  
土

## 周期ゼミの謎に迫る



▶ 13:00 ~ 15:00

「周期ゼミ（素数ゼミ）のナゾを解く」

曾田 貞滋

京都大学  
名誉教授

私たちヒトも含め、全ての生き物は常に自身のDNAを周囲に撒き散らしながら生活

しています。そのため、海や川などの環境中から、この生物が放出した「環境DNA」を回収して分析することで、その場に生息する生物を直接捕獲や観察なしに明らかにできる技術が発展してきています。本セミナーでは、そんな環境DNAを用いた生物調査の基礎から最新の研究までを幅広く紹介します。

17年または13年ごとに大発生する北米の周期ゼミの不思議な生態を紹介し、どのように進化したのか、なぜ周期的に大発生するのか、どうやって羽化のタイミングを決めているのかなど、未解決のナゾに迫ります。

後援： 国立遺伝学研究所

展示協力（順不同・敬称略）：

一般社団法人日本真珠振興会、大阪公立大学農学研究科 緑地環境科学専攻環境動物昆虫学研究グループ、  
Howard Hugh Medical Institute、京極大助（奈良女子大学理学部生物科学コース）、  
曾田貞滋（京都大学名誉教授）、辻冴月（京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻）、  
西村和紗（岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域）、Simone Gribaldo (Institut Pasteur Paris)、  
Basile Beaud Benyahia (Institut Pasteur Paris)



DNA 展